

決 算 特 別 委 員 会 資 料

令和 6 年 9 月

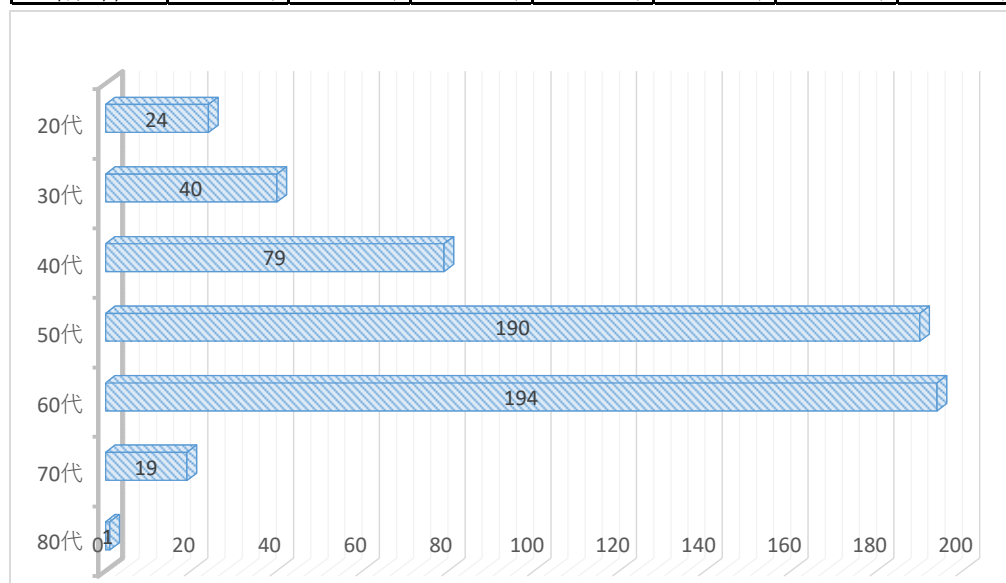
目 次

1	会計年度任用職員の年代別構成人数、退職理由別退職者数・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	子育て・青少年団体一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	2

1 会計年度任用職員の年代別構成人数、退職理由別退職者数

①年代別構成人数（令和6年3月31日時点）

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
人数	24	40	79	190	194	19	1	547
割合	4.4%	7.3%	14.4%	34.7%	35.5%	3.5%	0.2%	—



②退職理由別退職者数（令和5年度、月額制）

理由	人数
自己都合	20
勤務評定	1

2 子育て・青少年団体一覧

登録団体名称		活動目的	活動内容
1	あおぞら自主保育 狛江おひさまの会	自主保育、外遊びの推進	就学前の子ども達を持つ親たちが、互いに預け合いをしながら、身近な自然の中で野外活動を行い、子ども達の育つ姿を見守る自主保育をする。
2	家族のためのニチニチこそだてサロン	子育ては大人自身の「個」育て。「子どもの育ちに関わる時間はしあわせに過ごせるように」子どもに関わるすべての人の学びと交流の場を創る。	子育て・個育てに関するさまざまなテーマでセミナーやワークショップを開催。知識の共有や交流の場の設定
3	月末食堂委員会 (月末食堂)	すべての人に調理された食事を食べる権利がある。	毎月1回～2回の食事づくり、フリーマーケットで自主財源を確保
4	特定非営利活動法人 国際自然大学校	大人から子供まで幅広い年齢層を対象に、国内及び国外における自然体験活動、野外教育、環境教育、冒険教育、国際教育（以下「自然体験活動等」という）などの広く自然の中での体験教育活動に関する旅行業、専門的な指導者の育成、情報の提供、調査研究、プログラムの開発、政策提言、施設の管理運営を通して自然体験活動等の普及及び振興に寄与すること。	子どもや大人向けに、自然の中で、体験型の活動を通した教育事業を企画実施する自然学校。指導者養成事業や、学校の自然教室の指導、企業や行政の研修事業、指定管理者として公立の野外教育施設の運営も行っている。

5	コスモスこども・おとな食堂	こども食堂を開き、つながりをもてる地域をつくる。	子ども食堂の実施
6	子育ての輪	子育て支援	産前から子育て中の家庭が遊べて、ゆっくり過ごせる場所です。自分らしく、それぞれが心地よく過ごせる場づくりを目指しています。
7	子育てひろば「クローバー」	子ども・子育て支援	気軽にふらりと立ち寄って、一緒に食べたり遊んだり、ゆったりすごせる場所で、ベテラン保育士に子育ての悩みを相談したり、情報交換や遊びの紹介もしている。
8	こども食堂 ひかりっこ	子ども食堂と居場所	温かい手作りのお食事と寛げる居場所の提供
9	NPO法人こどもの遊びと育ちをささえる会・狛江 (NPO法人遊育会)	プレーパークの運営や子どもの遊びと育ちをささえる事業を通じて、外遊びの推進や市民が交流する場を作り、子どもが生き生き育つまちづくりを目指す。	狛江プレーパークの運営他、出張プレーパークの実施、会員向けの外遊び、幼児サークル”おそとっこ”の管理運営、その他、子どもの育ちのささえとなる活動を実施
10	子どもの文化を考える会こまえ	子どものための舞台芸術の鑑賞・体験の機会を増やすことで地域文化の発展を目指す。	子どものための文化芸術に関する情報発信や舞台芸術の鑑賞・体験などの展開
11	ごはん+居場所 おかえり (おかえり)	食べることを通して子どもから大人までの居場所づくり	毎月第4土曜に子ども食堂を開催
12	こまえ学習サポートプロジェクト	狛江の子どもたちの学習のサポート	中央公民館主催「学習フリースペース」見守り、こまえStudyCafeの企画・運営
13	狛江おもちゃ病院	おもちゃドクターとしておもちゃを修理するボランティア活動	壊れたおもちゃをおもちゃドクターが修理します。

14	こまえ・こどもの権利を考える会	「子どもの権利」に関する市民の理解を深め、意識を高めること。また、子どもたちの小さな声にも広く耳を傾け、大人も子ども対等な同じ一人の人間として「子どもの権利」について共に考える会を目指しています。	「子どもの権利条約」の勉強会や子どもの声を聴くイベントの開催
15	コマエこどもプロジェクト	子どもたちの健やかな成長を長期的に考えて、情報共有できるコミュニティづくりを目指しています。	子どもたちの健やかな成長を考えて、ワークショップや啓発活動を開催しています。
16	こまえチャイルドライン	電話やオンラインチャット等インターネット通信を通して子どもに寄り添い、子どもの声を傾聴し対話することにより子どもが自らと向き合い問題を解決できるように支援する事	子ども（18歳まで）の電話・チャット「こまえチャイルドライン」の開設、電話の受け手・支え手の養成事業、広報、啓発活動、定期総会（年1回）・定例役員会（原則月1回）の開催
17	NPO法人こまえにほんごしえん・日本語スクール	多文化共生社会において、海外ルーツの住民と地域住民がともに社会の一員としてつながり、よりよい生活を送るためのサポート活動をする事	狛江市内の施設で行っている交流勉強会「にほんごサロン」や、狛江市内の小・中学校の放課後で行っている、児童への日本語支援／学習支援、学校のプリントや行政資料のやさしいにほんごへの翻訳、日本語から母語への翻訳、通訳、イベントの開催などを行っています。
18	こまえほんの会	シニアが絵本を共に読み、交流を深め、外部活動にも参加し読み聞かせの輪を広める。	よしこさん家で金曜おはなしかいを開催（奇数月第4金曜）ほか

19	狛江水辺の楽校運営協議会	多摩川（狛江水辺の楽校）の環境保全と子どもたちの自然体験・環境学習の支援指導	環境保全事業として、毎週日曜日に多摩川をキレイにし隊清掃を継続。このほか随時園児や小・中学生の自然体験教室や環境学習の支援指導活動を行っている。
20	kom a söpö (こまそぼ)	子どもたちと子育てする人を笑顔にする、誰もが新しい発見と挑戦ができる。それぞれの「らしさ」が発揮できる。	お部屋の開放、子育て相談、おもちゃの広場
21	c o m a r c h (こまち)	こどもから高齢者まで広く市民に対し、多世代交流の集いの場の運営、住民の支え合いによる在宅生活支援に関する事業及び誰もが共に生きられる地域を育むネットワークづくりに関する事業等を行い、多様な居場所と活躍の機会に満ち、誰もが支え合いながら自分らしく生きることのできる地域共生社会の形成に寄与すること。	①まちのえんがわ事業 ②支え合いサービス事業 ③まち育て事業
22	サークル花むすび (花むすび)	地域に多世代の方が気軽にフラット立ち寄れる居場所づくり	時間内出入り自由。皆でお昼を食べて、お茶をいただき、おしゃべりや情報交換、希望者は折り紙を折ったり歌（童謡、懐メロ等）を歌ったりしてほっとして楽しいひと時を過ごしています。時に学習会、講習会を企画します。
23	SORANAの会	発達に凸凹がある子の親と支援者の自助	特別な子をもつ会員間の親ぼくをはかり、地域の療育・教育・福祉の充実による子どもたちのよりよい成長を支えあっています。
24	タルトタタン	自宅、学校・職場以外の第3の居場所として若者（10代から20代）の居場所づくりを行う。また同時に活動の周知や普及を目的とする。	小学生～20代の若者向けの居場所、相談の場、家族会の運営と提供、各種イベントの開催など。

25	つなぐ	お母さんの居場所作り、サポート	暮らしが楽しくなるようなイベントを開催予定!! 今年度はマルシェを4回開催、夏休み自由研究に子供向けワークショップ、おしゃべり会やゲスト講師による講座を予定している。
26	日本ボーイスカウト 東京連盟狛江第1団	地域の子ども達を、ボーイスカウト教育を通して未来社会を形成する健全な社会人に育成すること。	「楽しい狛江1団」がモットーです。野外活動の充実が今期の目標です。
27	はぴみゅーず フィ ギヤーノート研究会	フィンランドで開発された絵音符『フィギヤーノート (Figurenotes) 』を日本の教育や福祉に役立てることを目的に研究開発活動を行う。	フィギヤーノート利用者の管理・研修会や体験会の実施・楽譜や利用ツールの充実・演奏活動の支援などの普及活動をしています。
28	ハルのきに。	子どもと子育て家庭を地域につなぐ居場所作りを運営し、人と人が支え合い、育ち合いながら誰もが輝けるまちづくりに寄与すること	子どもと親子を中心とした多世代の交流の居場所作り
29	バルーンアートふう と (風翔[ふうと])	バルーン・アートを通じて地域交流	地域の輪を広げたい
30	NPO法人バレエの 輪まなび	青少年をはじめとする舞踊の愛好者、また指導者に対し、セミナー・公演・海外との交流などを行うほか、その活動を通して、広く地域の市民に向け舞踊の素晴らしさを伝え、誰もが舞台芸術に親しみ参加できるような社会づくりに寄与することを目的とする。	エコルマホールなどの会場にてクラシックバレエのワークショップ・公演の開催

31	特定非営利活動法人 フードバンク狛江	食べられるのに廃棄される食品等を企業や個人から寄贈してもらい、食の支援を必要とする生活困窮者や福祉施設・団体に提供する活動を通して、食品ロス削減や貧困問題を発信し、共に支え合う地域社会を創ること。	狛江市の生活困窮者自立相談支援窓口と連携して、依頼により週2回食の支援を必要とする世帯に食料を提供する。また、市の周知協力で学校給食のない夏・冬・春休み、一定の収入以下のひとり親家庭などを子育て世帯に、食糧支援を行なっている。さらに地域の福祉団体に無償で食品を提供。その食糧確保と管理と、そのための広報などの活動をしている。
32	+new Company (プラス ニュー カ ンパニー)	演劇・イベントの開催、キッズの育成、 ミュージックの提供	”演劇と教育を結び付けよう”という主旨の基、学校公演や福祉施設などでのミュージカル・ショーを提供。
33	フラワーセラピー花 想 (はなおもい)	花をツールに、近隣地域のあらゆる方へ ココロの癒やしの時間を提供	主に高齢者施設、公共施設に出向き、施設ご利用者や一般の方向けに教室 開催
34	保護者の会 おやお や	特定なことで困り感のあるお子さんの保 護者同士の交流	月1回(不定期)おしゃべり会(途中参加・途中退出自由) 月1回(不定期)刺繍教室
35	まなびや	子どもたちが地域と関わるきっかけをつ くること。	(1) 狛江市内の小学生を中心とする学習支援 (2) 子どもたちに向けた、既存の価値観に囚われない多様なプログラム (3) 子どもたちが安心して過ごせる場づくり (4) 多様な人たちがそれぞれのやり方で参加できるよう、地域の人たち との積極的な関わり
36	みんなの居場所	食を介した地域でのゆるやかなつながり 安心できる多世代交流の居場所	主に昼食調理、会食、余暇活動として遊ぶ、学ぶ、作る など

37	りぷりんと・ 狛江 かわせみ	・読み聞かせによって絵本の楽しさを届け、世代間交流をして地域に貢献する。 ・絵本の読み聞かせを通して仲間をつくるとともに、会員の心身の健康の維持・向上を図る。	読み聞かせ会（月 1 回ずつ） ・野川のえんがわ こまち ・公民館の日本語サロン ・市内保育園（1～5 歳） ・市内高齢者の会 ・市内小学校朝読み（週 1 回） ・市内小学校KOKOA（年 4 回）
38	六小おやじーズ	子供たちのため、地域のため、そしておやじが楽しむ	学校イベントを中心に、地域イベントのお手伝いを行います。そしておやじが楽しむイベントを実施します。

狛江市市民活動支援センター登録団体一覧＜子育て・青少年育成＞を基に作成